

九州教育学会 第76回大会 公開シンポジウム

「多文化共生」に教育学研究は どうアプローチできるか

— 教育学研究のアクチュアリティを問い直す —

提案者

大森万理子（広島大学）

金美連（熊本学園大学）

佐藤仁（福岡大学）

指定討論者

長谷川祐介（大分大学）

司会者

福田紗耶香（長崎大学）

椋木香子（宮崎大学）

概要

近年、日本においても社会構成員の多国籍化や社会の「多文化化」が進んでいる。こうした中、マジョリティの生活様式やアイデンティティなどを中心としてきたこれまでの社会のあり方と、それとは異なる生活様式やアイデンティティを大切にす人々が前提とするあり方とが、必ずしも同一のものでないことも（改めて）意識されるようになってきている。そして、前者を「正統」とみなし、後者を「異端」とみなすのではなく、人々が前提とする様々な社会のあり方が等しく尊重されるような「多文化共生」が重要視され、その方途が模索されているのである。

「多文化共生」は教育システムと政治・経済・福祉などの他のシステム、学校教育と社会教育、教科内活動と教科外活動などのいずれにも等しく関わるテーマである。そこで、教育学に関する総合学会としての本学会では、「多文化共生」に焦点を当て、検討を行いたい。

日時：2024年11月9日（土）14時～17時30分

会場：熊本学園大学（新1号館 121教室）

参加費：無料（事前に受付をお済ませください）

お問い合わせ先：九州教育学会事務局 E-mail: kyukyuu@gmail.com